

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年1月28日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月28日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、2月1日の（4）ALPS処理水の審査会合です。今回は7回目ということになっています。

次が、2月1日の（6）第1028回審査会合です。

これは特重が対象なので非公開でありまして、玄海と美浜と大飯の特重の保安規定についてということになります。いずれも前回9月や10月の会合へのコメント回答ということになります。

次が、2月4日の（8）核燃料施設等の審査会合ということで、今回はいずれも標準応答スペクトルの関係になります。

12月から1月にかけて申請がありました3つの事業者、日本原燃とリサイクル燃料貯蔵、京都大学から説明を受けるということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。